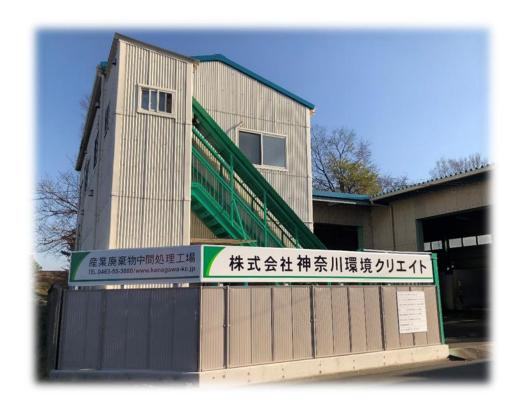
2024.07 - 2025.06

環境活動レポート



株式会社 神奈川環境クリエイト 2025 年10 月 2 日

《目》

1.	組織の概要・・・・・・・・・・・・・・1頁~2頁
2.	対象範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・2頁
3.	環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・3頁
4.	環境目標及びその実績・・・・・・・・・・・・4頁
5.	環境活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・5~6頁
6.	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・7頁
7.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
	並びに違反、訴訟等の有無・・・・8頁
8.	代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・9頁

1. 組織の概要

1) 名称及び代表者名 株式会社 神奈川環境クリエイト 代表取締役 浦瀬 浩一

2) 所在地

本社・工場 神奈川県平塚市大神四丁目20番20号

3) 環境理責任者氏名及び担当者連絡先

環境理責任者 岩田 きくの TEL: 0463-55-3880

E-Mail: kanakuri2002@mx2.alpha-web.ne.jp

URL: https://www.kanagawa-kc.jp

4) 事業活動内容

産業廃棄物の処理業(中間処分)

5) 事業の規模

	2022年	2023年	2024年
売上高(百万円)	125 百万円	121 百万円	109 百万円
処理能力(m³/日)	19 m³	19 m³	19 m³
従業員数(人)	4 人	4 人	4 人
床面積(m²)	297 m²	297 m²	297 m²
敷地面積(m²)	869 m²	869 m²	869 m²

6) 事業年度 7月~6月

7) 情報公表項目

(1) 法人設立年月日 : 昭和57年3月 (2) 資 本 金 : 9000万円

(3)許可の内容:

許可地区、許可番号、許可区分、廃棄物の種類、(許可年月日、許可の有効年月日)

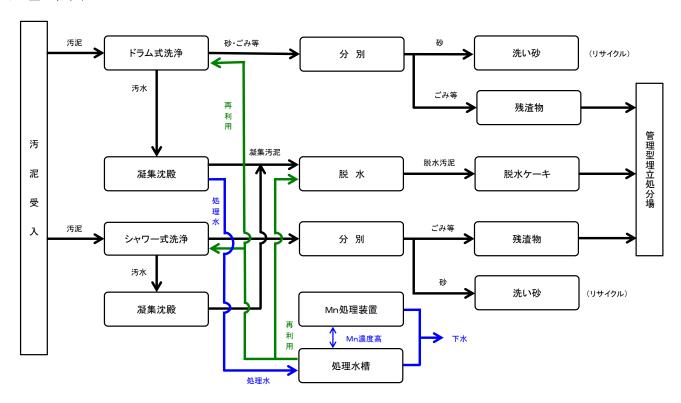
H 1, [] [] /		1 / 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	許可区分	許可番号
許可地区	産業廃棄物の種類	許可年月日
	生未	許可の有効年月日
	産業廃棄物処分業	01423027426
神奈川県	汚泥	令和7年2月1日
	イケット	令和12年1月31日

(4) 施設状況:

処分業:処理施設の種類、処理する産業廃棄物の種類、処理能力(規模)、処理方式、処理工程図

- 4	/ C / 3 / K · / C · ± / C 5 / C ·	<u> </u>		7 C · 王 11 D / 3	
	中間処分作業車両	台数	中間処分施設	台数	処理能力
	ショベルローダー車	1台	・洗浄施設(ドラム式)	1台	15㎡/日(6時間)
	トロンメルユンボ車	1台	・洗浄施設(シャワー式)	2台	40㎡/10日(20㎡/10日×2系列)
	•営業車	1台	•脱水施設	1台	8㎡/日 (8時間)

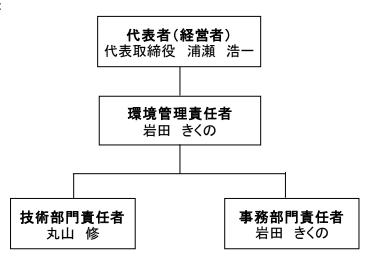
処理工程図



(5) 処理実績:環境への負荷の自己チェック、別表②受託した産業廃棄物の処理量)

7 C - 1 2 C / D C - 2 C / D C - 2		<u> </u>	<u> </u>
事業年度	種類	中間処分量(t)	収集運搬量 (t)
2022年度	汚泥	3, 513	ナシ
2023年度	汚泥	3, 279	ナシ
2024年度	汚泥	3,003	ナシ

(6)組織図:



2. 対象範囲(認証・登録の範囲)、レポートの対象期間及び発行日

全組織、全活動を認証・登録範囲とする。

- 1) 対象組織 「1.2」所在地」欄に記載
- 2) 活動 「1.4」事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日 レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載

3. 環境方針

環境方針

<基本理念>

株式会社神奈川環境クリエイトは、産業廃棄物処理業を営む企業として、当社の企業活動が環境に与える影響を強く認識し、環境保全の改善・向上を目指し、達成すべき環境目的および環境目標を定め、次の方針に基づき、環境マネジメントシステムの構築を図ります。

<行動方針>

- 1. 事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 2. 水使用量の削減に努めます。
- 3. 事務所から生じる一般廃棄物の削減に努めます。
- 4. 環境にやさしいグリーン購入の推進に努めます。
- 5. 産業廃棄物の適正処理により、環境への負荷を低減するとともに、 すべてのステークホルダーの信頼向上に努めます。
- 6. 環境関連の法規等を遵守します。
- 7. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

2020年 7月 1日 株式会社 神奈川環境クリエイト 代表取締役 **浦 瀬 浩 一**

4. 環境目標及び環境目標の実績

2024年7月~2025年6月

No.		環境目標項目	基準値	CO2	2024年度	活動期間(2024/7~	~2025/6)	2025年度	2026年度
No.	•	垛况日保 项日	(2019年度)	換算係数	目標	実績	達成度	目標	目標
		単十年日中の変化	電力使用量		基準値に対し 3 %削減			基準値に対し 3 %削減	基準値に対し 4 %削減
		電力使用量の削減 (事務所)	7,003	0.421	6,793	8,356	81.29%	6,793	6,723
		(事物//1)	kWh/年		kWh/年以下	kWh/年以下	×	kWh/年以下	kWh/年以下
		電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 5 %削減			基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減
		電刀使用軍の削減 (工場)	6,70 4	0.421	6,369	7,664	83.10%	6,369	6,302
		(工物)	kWh/年		kWh/年以下	kWh/年以下	×	kWh/年以下	kWh/年以下
			LPG <m³></m³>		基準値に対し 5 %削減			基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減
			7.2	3.000	6.8	5.8	117.93%	6.8	6.7
			㎡/年		m³/年以下	m³/年以下	0	m³/年以下	赠∕年以下
1	二酸化炭素	手機 本王体の A	ガソリン 〈L〉		基準値に対し 5 %削減			基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減
1	排出量の削減	重機・車両等の燃料 消費量削減	936	2.320	889	806	110.32%	880	870
		行复 基門 俠	L/年		L/年以下	L/年以下	0	L/年以下	L/年以下
			軽油〈L〉		基準値に対し 4 %削減			基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減
			3,403	2.580	3,267	2,649	123.33%	3,199	3,165
			L/年		L/年以下	L/年以下	0	L/年以下	L/年以下
			灯油 〈L〉		基準値に対し 4 %削減			基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減
			116	2.510	111	98.0	113.63%	109	108
			L/年		L/年以下	L/年以下	0	L/年以下	L/年以下
		計(kg-CO ₂)	17,035		16,333	15,711	103.96%	16,129	15,959
		# (kg CO2)	$kg-CO_2$		kg-CO₂/年以下	kg-CO2/年以下	0	kg-CO₂/年以下	kg-CO ₂ /年以下
			年間一般廃棄物排出量		基準値に対し 7 %削減			基準値に対し 9 %削減	基準値に対し 11 %削減
		一般廃棄物排出量の削減	83.7		77.8	38.6	201.66%	76.2	74.5
2	廃棄物		kg/年		kg/年以下	kg/年以下	0	kg/年以下	kg/年以下
-	排出量の削減		年間産業廃棄物排出量		基準値に対し 2 %削減			基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
		産業廃棄物排出量の削減	403.15/3002.86		10.14	13.42	75.6%	10.14	10.04
			=13.42%		%以下	%以下	×	%以下	%以下
	-4	く使用量の削減	年間水道使用量		基準値に対し 2 %削減			基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
3		、使用重の削減 K道使用量: m³>	277		271	318	85.36%	271	269
	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	R.E.C/II 重:Ⅲ /	n³/年		m ⁸ /年以下	㎡/年以下	×	m³/年以下	㎡/年以下
	JP11	リーン購入の推進	年間エコ商品購入品目数		基準値に対し 2 %向上			基準値に対し 2 %向上	基準値に対し 3 %向上
4		プログリン はんしゅう プログロ フロック はいましょう はいしょ フロック はいしょ フロック はいしょう はいしょ フロック はいしょう はいない はいしょう はいしょ はいしょ はいしょう はいしょう はいしょう はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はい はいしょう はいしょう はいしょ はいしょく はいしょく はいしょく はいしょ はいしょく はいしょ はいしょく はい	75/119		68.0	58.7	86.28%	68.0	68.7
		一 μμ 州サノトルル ロ 郊人	=63.0%		%以上	%以上	×	%以上	%以上
	本来除 类	施加田米スの母接町 食	クレーム件数						
5		物処理業での環境配慮 重点取組の決定・実行)	0		0件	0	100.00%	0件	0件
	(十及世)	単心が近い(人に・ 人 11)	件/年		件/年以下	件/年以下	0	件/年以下	件/年以下

*:電力使用量の二酸化炭素排出係数は、2024年度東京電力の排出係数0.421 (kg-CO2/kWh)を用いた。

*: PRTR法対象化学物質の使用はありません。

5. 環境活動計画

2024年7月~2025年6月

No.	環	境目標項目	基準値	目標値	CO2排出 換算係	取組内容	推進 責任者	担当者	実績調	呼価項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 月	期間計
		1)電力使用量 の削減 (事務所)	電力使用量 7.003 <kwh></kwh>	基準値の 3 %削減 6.793 <kwh以下></kwh以下>	0.421	①不使用照明の消灯 ②空間の適温化(冷房26、暖房22度) ③OA機器のセーブモード設定	岩田	岩田	電力 kWh	活動予定進排評価目標製值目標製值計実施累值計	①~③ 実施 	O 591 1.020 7 763 1.503	O 445 1.466 670 2.173	O 378 1.844 415 2.588	O 469 2.312 648 3.236 ×	734 3.047 855 4.091	900 3,947 886 4,977	792 4.738 1.103 6.080	O 691 5,429 797 6,877	593 6.022 589 7.466	328 6.350 390 7.856	443 6,793 500 8,356	6.793 6.793 8.356 8.356
	二酸化	1)電力使用量 の削減 (工場)	電力使用量 6.704 <kwh></kwh>	基準値の 5%削減 6,369 <kwh以下></kwh以下>	0.421	①不使用照明の消灯 ②設備の点検 ③不使用設備の電源オフ	岩田	丸山	電力 kWh	注動 予定	①~③ — 実施 ○ 393 393 460	O 290 683 437 897	O 366 1.049 430 1.327	O 352 1.400 632 1.959	O 390 1.790 1.128 3.087	O 857 2.647 645 3.732	O 731 3,377 611 4,343	O 612 3,989 1,196 5,539 ×	759 4.748 8.59 6.398	O 442 5.190 7 324 6.722	673 5.862 580 7.302	362	6.369 6.369 7.664 7.664
1	炭出瀬の削減	2)重機車両等の 燃料消費量の削 減	7.2 ガソリン <l> 936 軽油 <l> 3.403 灯油 <l> 116</l></l></l>	基準値の 5 %削減減 4 %削減減 4 %削減減 LPG (m) 6.8 がリンマ (L) 889 軽油 (L) 3,267 灯油 (L)	軽油 灯油 3.000	①省エネ運転の実行 ②車両・重機の点検整備	岩田	液凝 浅井	化燃 LPG ガソル油 L加 合(カリン L油 上計リリタ 値)	活動予定 進歩評価 目実際機能 目実際機能 目実際機能 目実際機能 目実際機能 目実際機能 目実際機能 目実際機能 目実際機能		O 0.2 0.3 30 90 318 276 0 0 487 907 477 916 ×	O 0.2 0.2 0.2 89 57 208 163 0 0 0 388 1.295 317 1.233	O 0.2 0.3 88 55 235 278 0 0 350 1,644 365 1,597	O.6 0.6 0.4 29 58 427 331 38 0 426 2.191 426	O.8. 0.7. 117. 566 417. 114. 19. 30. 602. 2.793. 216. 2.240	O 0.9 0.7 59 58 0 429 0 38 60 2.853 577 2.817	O 1.0 0.9 88 58 58 120 36 30 37 35 3,609 225 3,042	O.9 0.9 0.6 90 87 269 179 17 0 4,018 309 3,352	O 0.9 0.7 91 86 0 285 0 0 92 4.110 404 3.756 ×	O 0.7 0.5 59 58 286 98 0 0 378 4.488 168 3.928	O 0.4 0.3 59 56 265 114 0 0 354 4,842 183	6,8 55,8 890 806 3,267 2,649 111 98 4,842 4,106 4,106
		al	CO2排出量 17.035 <kg-co<sub>2></kg-co<sub>	CO2排出量 16,333 <kg-co2以下></kg-co2以下>		〔数値目標/実績〕			CO2 排出 kg	目標值 目標累計 実績組 実績累計 達成評価	1,272 1,272 1,331 1,331 ×	1,262 2,534 1,427 2,758 ×	1,087 3,621 1,017 3,774	1.118 4,739 1,287 5,061 ×	1,629 6,368 1,736 6,797	2,067 8,435 1,134 7,931	827 9,262 1,969 9,900 ×	2,343 11,605 1,491 11,391	1,558 13,164 1,415 12,806	649 13,813 1,322 14,127 ×	1,298 15,111 798 14,925	1,222 16,333 788	16,333 16,333 15,713 15,713
2	廃棄物 排出量の	1)一般廃棄物 排出量の削減	総排出量 83.7	基準値の 7%削減 77.8 <kg以下></kg以下>		①分別徹底 ②裏紙使用で紙使用量の削減 ③IT化により紙使用量の削減 ④一般廃棄物の排出量を収集 ⑤古紙再資源化により搬出量を削減	岩田	浅井	一般 廃棄物 排出量 kg	活動予定進排評価	①~⑤ 実施 — 6.5 6.5 3.7 3.7	O 6.5 13.0 2.7 6.4	O 6.5 19.5 3.3 9.7	O 6.5 25.9 4.1 13.8	O 6.5 32.4 3.3 17.1	O 6.5 38.9 6.8 23.9 ×	0 6.5 45.4 2.8 26.7	O 6.5 51.9 2.4 29.1	O 6.5 58.4 2.4 31.5	0 6.5 64.9 2.2 33.7	0 6.5 71.4 1.4 35.1	0 6.5 77.8 3.5 3.5	77.8 77.8 38.6 38.6
	削減	2)産業廃棄物 排出量の削減 (最終処分量の 割合の削 減)	産業廃棄物 総排出量 10.35 <%>	基準値の 2%削減 10.14 <%以下>		①搬入物を投入受欄やトロンメルユンボ にて徹底分別	岩田	丸山	産業 廃棄物 排出量 %	活動予定 進排評価 目標値	Ф 実施 — 5.72 5.72 10.93	O 16.00 9.93 24.05 15.68	O 14.28 11.16 3.62 10.83	O 11.63 11.37 6.23 9.40	O 14.88 12.30 10.77 9.72	O 10.04 11.71 17.52 10.89	O 10.56 11.45 12.13 11.06	O 5.40 9.96 12.05 11.21	O 8,99 9,83 18,95 12,08	O 10.87 9.87 26.02 12.77	0 8.32 9.74 9.44 12.55	O 12.59 9.94	9.94 9.94 11.51 13.43

3	水使用量の削減	水道使用量 277 <㎡>	基準値の 2 %削減 271 <m以下></m以下>	①節水、散水は必要最小限 ②処理工程で使用する水の再利用 ③パルプの調整により水量と水圧を調 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 岩田 	丸山	水 使用量 ㎡	活動	i O	0 33 33 40 40 ×	O 0 33 7 0 40	O 38 72 66 106	0 0 72 0 106	O 37 109 53 159	0 0 109 0 159	0 52 161 63 222 ×	0 0 161 0 222	0 59 220 62 284 ×	0 220 284	O 52 271 34 318	271.5 271.5 318.0 318.0
4	グリーン購入の推進	エコ商品購入 品目数 (3015年度データ東集) 66.7 <%>	工□商品購入 品目数 2%向上 68.0 <%以上>	①購入時、環境配慮商品の確認 ②環境配慮商品のリストアップ ③対象商品の購入 ④事務用品以外の環境配慮商品の確認	- 岩田	岩田	エコ商品際入率	活動予定	i O 72.0 72.0 0.0	0.0 72.0 85.7 54.6	O 72.9 72.2 11.1 35.0	O 61.2 70.3 73.7 53.9	O 72.9 71.2 83.3 63.2 ×	O 63.8 70.0 83.3 65.1	51.0 68.6 87.5 67.6	68.0 68.6 57.9 65.6	51.0 66.9 40.0 63.0	0 64.9 66.6 40.0 60.9	0 102.0 70.0 47.8 58.7	51.0 68.0 60.0 58.7	68.0 68.0 58.7 58.7
5	産業廃棄物処理業での環境配 虚 (年度ごと重点取組の決定・実行)	クレーム件数 0 <件>	0 <件>	①クレーム件数の収集の結果 クレームは0件のため 今後の目標は常に0件とする ②HPを環境レポートにてPR	岩田	岩田	クレーム 件数	活動 予定 進步 医电子	i O 0 0 0 0	O 0 0 0 0	O 0 0 0 0	O 0 0 0 0	0 0 0 0	O 0 0 0 0	O 0 0 0 0	O 0 0 0 0	0 0 0 0	O 0 0 0 0	O 0 0 0 0	C C C	0 0 0 0
3	水使用量の削減	水道使用量 277 <㎡>	基準値の 2 %削減 271 <ポ以下>	①節水、散水は必要最小限 ②処理工程で使用する水の再利用 ③バルブの調整により水量と水圧を調節 ④水道配管の定期点検	 岩田 	丸山	水使用量	活動予定 進歩評価 目標集計 実施集計 実施集計	0 0 0	O 33 33 36 36 ×	O 0 33 0 36	O 38 72 55 91	O 0 72 0 91	O 37 109 65 156	O 0 109 0 156	52 161 54 210	O 0 161 0 210	59 220 51 261	O 0 220 0 261	52 271 36 297	271.5 271.5 297.0 297.0
4	グリーン購入の推進	エコ商品購入 品目数 (9015年度サータ収集) 66.7 <%>	エコ商品購入 品目数 2 %向上 68.0 <%以上>	①購入時、環境配慮商品の確認 ②環境配慮商品のリストアップ ③対象商品の購入 ④事務用品以外の環境配慮商品の確認	- 岩田 -	岩田	エコ商 品 購入率 %	活動予定 進歩評価 目標集計 実績累計 連成評価	72.0 72.0 72.0 75.0	0.0 72.0 71.4 73.3	72.9 72.2 50.0 66.7	0 61.2 70.3 42.9 60.7	72.9 71.2 33.3 55.9	0 63.8 70.0 62.5 58.0	O 51.0 68.6 64.3 59.4	0 68.0 68.6 58.8 59.3	51.0 66.9 60.0 59.3	0 64.9 66.6 70.0 60.4	O 102.0 70.0 80.0 62.3	51.0 68.0 69.2 63.0	68.0 68.0 63.0 63.0
5	産業廃棄物処理業での環境配慮 (年度ごと重点取組の決定・実行)	クレーム件数 0 <件>	0 <件>	①クレーム件数の収集の結果 クレームは0件のため 今後の目標は常に0件とする ②HPを環境レポートにてPR	岩田	岩田	クレーム 件数	活動予定 進歩評価 目標環計 実施累値 実施累価	0 0 0 0	O 0 0	O 0 0 0	O 0 0	O 0 0 0	O 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	O 0 0 0	O 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.		環境目標項目	取組内容	取組	
No.		東境日際境日	以租 <u>内谷</u>	結果•評価	次年度の内容
		電力使用量の削減 (事務所)	①不使用照明の消灯 ②空調の適温化(冷房26、暖房22度) ③OA機器をセーブモード設定	前期同様徹底した取組みをしているが、目標達成したのはわずか2ヵ月のみと厳しい結果となった。 引き続き徹底した取組を継続する。	継続して取り組む。 目標値は現状の3%とする
1	二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の削減 (工場)	①不使用照明の消灯 ②設備の点検 ③不使用設備の電源オフ	前期同様徹底した取組みをしているが、事務所の電力同様目標を達成することができなかった。 引き続き徹底した取組を継続する。	継続して取り組む。 目標値は現状の5%とする
		重機・車両等の燃料 消費量削減	①省エネ運転の実行 ②車両・重機の点検整備 ③削減目標を個別に設定 LPG、灯油、ガソリン、軽油: 各1%	前期同様個別に目標値を設定することで、正しく評価することができた。	継続して取り組む。 目標値=LPG:6%、灯油: 5%、カソリン:6%、軽油: 5%
2	廃棄物 排出量の削減	①分別徹底 ②裏紙使用で紙使用量の削減 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			継続して取り組む。 目標値は2%加算の7%と する。
		産業廃棄物廃棄物の削減 _{最終処分(埋立処分)量の割合の削減}	①搬入物を投入受槽やトロンメルユンボに 徹底分別 ②洗砂の再資源化PR	前期同様徹底した取組みをしていたが、基準値の時に比べて受け入れた汚泥に固形分が多かったので目標を 達成することはできなかった。	
3	7	①節水、散水は必要最小限化 ②処理工程で使用する水の再利用 水使用量の削減 ③バルブの調整により水量と水圧を調節 ④水道配管の定期点検 続する。			
4	グ	リーン購入の推進	前期に引き続き実施しているが、グ リーン商品へ移行することが出来ない商品があるため目標を達成することができなかった。引き続き購入商品の見直しを行う。	継続して取り組む。 目標値は現状の2%とする。	
5		を 動処理業での環境配慮 重点取組の決定・実行)	①クレーム件数の収集 ②HPを環境レポートにてPR	クレーム件数0件を達成。 HPにて環境レポートにURLを表示。	継続して取り組む。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

当社に関係する環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2025年6月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

環境関連法規等遵守状況

区分	環境関連法規等名称	遵守評価 結果					
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (一般廃棄物の適正処理)	0					
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (産業廃棄物の適正処理)						
廃 来彻	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (産業廃棄物の処理業:処分業)	0					
	平塚市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	0					
	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	0					
資源循環 (リサイクル)	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)						
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	0					
化学物質	毒物及び劇物取締法	0					
水質汚濁	水質汚濁防止法	0					
大気汚染	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域に おける総量の削減等に関する特別措置法 (自動車NOx・PM法)	0					
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)						

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2025年	F 10月	1 2日	(□定期見直し ■臨時見直し)									
見直し対象期間		202	24年 7	7月 1日 ~ 2025年 6月30日									
見直しに必要な情 報	②環境目標の達成状況及 ③問題点の是正処置及で ④外部からの環境に関す	②環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果(環境活動計画兼実績書による) ③問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正/予防処置報告書による) ②外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ③その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)											
	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、③、④、⑤等を踏まえて評価) 前期同様全社員が各自の役割を理解して活動しているが、目標達成できた項目は少なかった。なお、法規制の順守状況には問題なく、外部からの苦情の発生もないため、環境経営システムは現在のところ有効に機能している。												
	環境への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)												
	目標項目	成状況	4	目標・活動計画実施状況の評価									
	二酸化炭素排出量の削減	0	0	徹底した取組をした結果、目標を達成することができた。次年度も継続して努力する。									
代表者による評価	一般廃棄物排出量の削減	0	0	全社員が前期に引き続き徹底した取組みをしているため目標を達成することができた。									
経営的観点	産業廃棄物排出量の削減 (最終処分量の割合削減)	×	0	基準値の時に比べて受け入れた汚泥に固形分が多いため目標を達成することはできなかった。次年度の目標値は今回同様とし経過観察をする。今後も継続して分別を徹底する。									
	水使用量の削減	×	0	前期に引き続き全社員が最大限の節水を心掛けていたが、目標達成率85.36%と厳しい結果となった。次年度の目標値は今回同様とし経過観察をする。今後も継続して努力する。									
	グリーン購入の推進	×	0	前期同様エコマーク商品を優先的に購入しているが、エコマーク商品へ移行することができない商品があるため目標は達成できなかった。今後も引き続き積極的にエコマーク商品を購入するよう心掛ける。									
	産業廃棄物処理業での 環境配慮 (クレーム件数の収集)	0	0	全社員が自覚して取組めた。今後も継続して努力する。 クレーム件数は、0件であった。									
	「一世本十 夕 」			本面の2.番件 □左 ■価									
	【環境方針】			変更の必要性 : □有 ■無									
	当社の事業活動に見合	うったも	のであ	ప .									
	【環境目標及び環境活	動計画	`]	変更の必要性 : □有 ■無									
代表者による 見直し	最大限の取組みを踏ま 基準値の見直しを検討		期は経	過観察とするが、目標達成が著しく困難な項目については、									
変更の必要性	【環境経営システム等】			変更の必要性 : □有 ■無									
の有無・変更に 必要な具体的 指示事項	環境経営システムは現			めに機能している。									
	【総 括】(環境活動レ	ポートに	[転記]										
	の意識が向上していると思われる。 する。												

以上